
王の座

催吐剤

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

王の座

【Nコード】

N5259P

【作者名】

催吐剤

【あらすじ】

本作品は読書時に弱い不快感を生じる可能性があります。

昔々、あるところに、身勝手な王様がいました。

王様は熊よりも力強く、狼よりも素早く、鋼のような、いつまでも若々しい肉体を持ち、しかし顔だけは年老いていました。

王様は身勝手でしたが、誰も王様のすることに不満を言うことはできませんでした。

不満を言つと処刑されてしまうのです。

処刑は恐ろしいものでした。

王様は広場に国中の人々を集め、笑いながらゆつくりと素手で人を引きちぎるのが大好きだったのです。

王様は重税を課し、人々から何もかもを取り上げます。

そうして毎晩のように、この世のものとは思えぬほどの贅を尽くした宴を繰り広げるのです。

王様は気に入った人を誉め、気に入った人に贅沢をさせ、気に入つた女を妻にし、子どもを産ませました。

そして気に入らなくなると処刑しました。

王様は気分屋でしたので、その日、その時によつて気に入るか気に入らないかが変わります。

人々は王様に気に入られようと必死でしたが、王様にずっと気に入られていようとすることは、一滴の雨粒にも当たらずに雨の中を裸で走り抜けることよりも困難でした。

なので、多くの人々が処刑されました。

過去には、国民たちの暮らしを見るに見かねて王様に贅沢をやめるように進言した大臣がいましたが、大臣は家族もろとも殺されてしまいました。

それからは王様に不満を言う者はなくなりました。

やがて時は経ち、人々は飢え、肉は削げ落ち、地獄の餓鬼のように痩せ細り、身体に残されたものは骨と皮、そしてそれを包むのは

服とも呼べぬようなボロ布のみとなりましたが、それでも王様は贅沢を続けました。

あるとき、貧しい暮らしに耐えかねた一人の若者が、王様の寝室に忍び込んで、王様の首に剣を振り下ろしました。

しかし鋼のような肉体を持った王様の首に剣は刺さりませんでした。

若者は目を覚ました王様に捕らえられ、処刑されることになりました。

翌日、国中の人々が広場に集められました。

これから若者の処刑が行われるのです。王様は人々の見守る中、若者の罪状を述べ、国中に響くような大声で高らかに叫びました。

「この者を死刑とする！」

その瞬間、広場が光に包まれました。

王様の頭上の王冠へと雷が落ちたのです。

王様は一瞬のうちに黒焦げとなり、見るも無惨な単なる炭素の塊と化しました。

人々は歓喜の声をあげました。

そして、積年の恨みを晴らすべく王様だったものに殺到した人々は、王様でできた消し炭に乗った王冠が何事もなかったかのようにピカピカと輝いているのに気がつきました。

地獄の餓鬼たちによる果てしのない奪い合いが始まりました。

今も続いています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5259p/>

王の座

2010年12月25日19時39分発行